

山王小学習スタイル(国語)

既習活用

◎つかむ

一人調べの課題をつかむ
(思考の焦点化)

◎考える (家庭学習・自習)

既習の学習内容や方法
をもとに考える

登場人物は 場面は



(予習)※一人調べ
(文章・言葉の吟味)
・音読(しるしをつける)
・登場人物をつかむ
・段落や場面に分ける
・意味調べ
・単元のねらいに
つなげる一人調べ

方策①

い 意欲を高めるための つかむ場の工夫

- ・課題の工夫
- ・家庭学習での予習
- ・言語活動の提示による見通し

①ふりかえる

言葉や掲示を利用してのふり回り

②つかむ

本時の課題を確認し見通しをもつ

③広める

根拠を明確にして話す
自分と友だちの考えを比べて聞く
(〜と同じで 違って 付け足して等)

【考える(課題を自力解決する)】

言葉や文や図(挿絵)を基に考える
叙述に即して様子や気持ちを考える
段落や場面との関係を調べて考える

④深める

ゆさぶり(新たな意見を取り上げたり
深めたりする)

全体に還す

⑤まとめる

本時の課題についてまとめる

⑥いかす



きょうの勉強
をいかして～
(言語活動)
ができたよ。

⑦今日の学習をふりかえる

どんな力がつきたか

(主に三次) 応用活用

※並行読書教材で 言語活動



別のお話でも、○○
○○ができたぞ。

方策②

つ つなげる場の設定で 学びを深める

- ・既習とつなげて発言する場
- ・友だちの考えとつなげる場
- ・前後の段落や場面とつなげる場
- ・学習形態でつなげる場
- ・並行読書とつなげる場

方策③

か 活用する力を育てるための いかす場の設定

- ・ **本時活用**
(本時の目標の到達度を確認)
・紙芝居作り
・リーフレット作り
・音読, 朗読 等
- ・ **応用活用**
(主に三次)

いかす **本時活用**
※本時習得したことを確認する言語活動

山王小学習スタイル (算数)

①ふりかえる (短時間で)

全員で声を出す

既習活用 ※新しい問題を既習を活用して解決する

②つかむ

題意をつかむ
課題をつかむ (思考の焦点化)
見通しをもつ

色わけ, しるし

分度器



③考える (5分程度)

既習をもとに考える

④広める

根拠を明確にして話す
友だちの考えと比べて聞く
(〜と似ていて 付け足して等)



習ったこと
を使ったら
できたよ。

⑤まとめる

- ・板書のキーワードをもとに
- ・穴埋め
- ・児童の言葉で 等

⑥つかう

本時活用 (たしかめ問題)

※本時に習得した力を活用して解決する

きょうの勉強がわかったぞ。間違えずにできた。



応用活用 (でか山問題)

※「本時+前時まで」の学習を活用して解決する

きょうの勉強を使って, 難しい問題にも挑戦できた。



⑦今日の学習をふりかえる

※家庭で定着・反復

方策①

い

意欲を高めるための つかむ場の工夫

- ・生活の中での必要感
- ・実物の提示
- ・お話形式での問題提示
- ・大事なところを隠す提示
- ・視覚に訴える提示
- ・どちらかを選択

方策②

つ

つなげる場の設定で 学びを深める

- ・既習とつなげて発言する場
- ・友だちの考えとつなげる場
- ・相手意識をもち説明する場
- ・文・図・式を関連づける場

方策③

か

活用する力を育てるための つかう場の設定

- ・ **本時活用**
(本時の目標の到達度を確認)
- ・ 適用題
- ・ **応用活用**
 - ・ 前時までの学習も混ぜる
 - ・ 情報過多 (不足)
 - ・ 複数の演算を使う
 - ・ 観点を変える
- ・ レベル UP して挑戦できる場
- ・ 選んで挑戦できる場
- ・ 分かったことを教える場